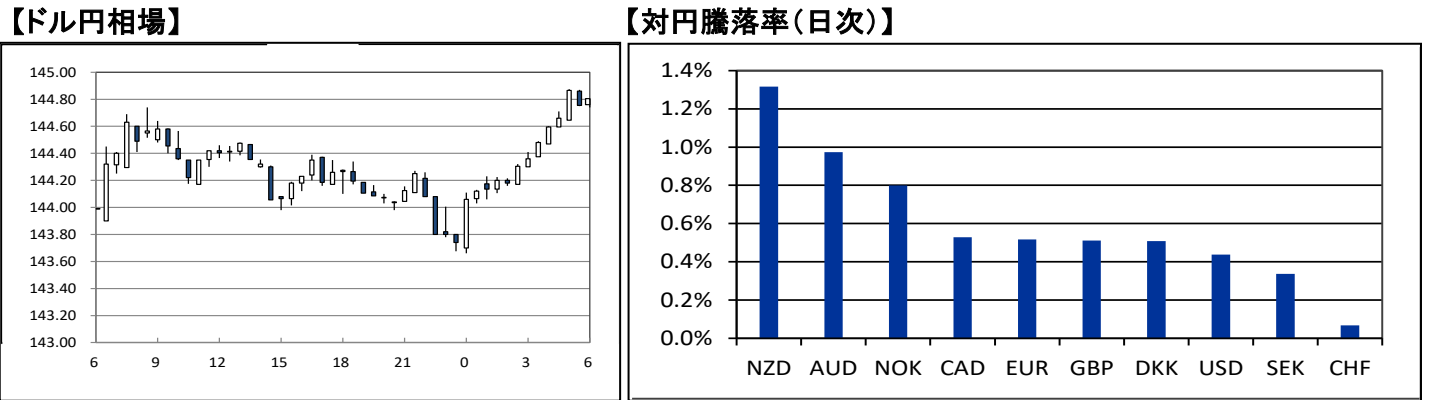


【昨日の市況概要】				公示仲値	144.41
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	144.58	1.1537	166.73	1.3548	0.6492
SYD-NY High	144.87	1.1615	167.45	1.3621	0.6552
SYD-NY Low	143.66	1.1524	166.41	1.3536	0.6469
NY 5:00 PM	144.81	1.1559	167.35	1.3576	0.6524
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,515.09	317.30	日本2年債	0.7500%	0.0200%
NASDAQ	19,701.21	294.38	日本10年債	1.4500%	0.0500%
S&P	6,033.11	56.14	米国2年債	3.9707%	0.0221%
日経平均	38,311.33	477.08	米国5年債	4.0339%	0.0290%
TOPIX	2,777.13	20.66	米国10年債	4.4482%	0.0426%
シゴ`日経先物	38,640.00	580.00	独10年債	2.5285%	▲0.0075%
ロンドンFT	8,875.22	24.59	英10年債	4.5295%	▲0.0210%
DAX	23,699.12	182.89	豪10年債	4.2440%	0.0870%
ハンセン指数	24,060.99	168.43	USDJPY 1M Vol	10.57%	▲0.13%
上海総合	3,388.73	11.73	USDJPY 3M Vol	10.57%	▲0.12%
NY金	3,417.30	▲ 35.50	USDJPY 6M Vol	10.55%	▲0.08%
WTI	71.77	▲ 1.21	USDJPY 1M 25RR	▲1.63%	Yen Call Over
CRB指数	310.17	0.27	EURJPY 3M Vol	8.65%	▲0.11%
ドルインデックス	98.00	▲ 0.19	EURJPY 6M Vol	9.13%	▲0.11%

東京	東京時間のドル円は144.58レベルでオープン。中東情勢の悪化から先週末より進んでいたドル買いが一服、ドル円は下落し一時144円を割り込んだ。ただし、明日に6月日銀金融政策決定会合の結果発表を控える警戒感もあってか、値幅は限定的。結局、144.18レベルでクロスした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は144.18レベルでオープンした。イスラエルとイランの情勢が拡大するとの見方が後退し、安全資産買いが一服、加えて、日銀金融政策決定会合の2日目を前にドル円は方向感に欠ける展開となり、144円台前半レンジで推移、ニューヨーク市場に144.11レベルで渡った。
ニューヨーク	先週末強まった中東情勢が悪化しなかったことから海外市場ではドルが売られる一方、円も売られたことからドル円の下値は限定的となり、144.11レベルでNYオープン。朝方は6月NY連銀製造業景気指数が予想を下回り、143.66まで下落。その後は米金利が上昇する展開にドルが買い戻され、株式市場が上昇する展開に円も売られ、144.87まで戻し、144.81レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1562でオープン。朝方はNY連銀製造業景気指数結果を受け1.1615まで上昇するが、その後はドルが売り戻され1.1559レベルでクロスした。

【昨日の指標等】						
Date	Time		Event		結果	予想
6月16日	11:00	中	小売売上高(前年比)	5月	6.4%	4.9%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	5月	5.8%	6.0%
	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	6月	-16.0	-6.0
Date	Time		Event		予想	前回
6月17日	-	日	日銀金融政策決定会合	6月	0.50%	0.50%
	15:30	日	植田日銀総裁 会見	-	-	-
	18:00	独	ZEW景気期待指数/調査現状指数	6月	35.0/-75.0	25.2/-82.0
	18:00	欧	ZEW景気期待指数	6月	-	11.6
	21:30	米	小売売上高速報(前月比)	5月	-0.6%	0.1%
	21:30	米	小売売上高(除自動車/前月比)	5月	0.2%	0.1%
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	5月	0.0%	0.0%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.00-145.80	1.1480-1.1600	166.00-167.80

【マーケット・インプレッション】

前日は中東情勢の悪化懸念が後退したことを受けて、ドル円相場は上昇した。本日のドル円は水準を切り上げる展開を予想する。本日は日銀の金融政策決定会合の結果が発表される。米トランプ政権の関税政策は前回の日銀会合の時と比較すると不透明感は多少緩和しているものの、依然として不確実性の高さから、日銀は政策金利を据え置く見通しである。その後行われる植田日銀総裁の記者会見には注目が集まる。先週10日に、植田日銀総裁が「基調的な物価上昇率は、物価目標の2%まで少し距離がある」と発言した事を受けて利上げ織り込みが後退しており、記者会見ではハト派的な発言が予想されドル買い円売りを誘発すると想定。仮に利上げ継続路線を示したとしても、早期の利上げ実現には障害が多く、相場への影響は限定的であろう。